

# 管内の概況

## 位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯42°09'～43°38'、東経142°40'～144°02'に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に拓けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

十勝地方の気候は、太平洋岸を除き大陸性気候で、帯広市の年間の平均気温は7.2℃です。降水量は約934mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,031時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

事項		気象数値													
		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
帯 広	気温 (℃)	最 低	-13.0	-11.8	-5.2	0.8	6.3	10.8	15.3	16.6	12.8	5.3	-1.0	-8.9	2.3
		最 高	-1.5	-0.1	5.0	12.4	18.2	21.5	24.6	25.5	22.1	16.0	8.5	1.1	12.8
		平 均	-7.0	-5.6	-0.2	6.1	11.7	15.3	19.2	20.3	16.9	10.3	3.6	-3.8	7.2
	降 水 量 (mm)	41.5	29.6	46.6	62.0	85.1	81.4	106.0	148.4	136.4	85.7	59.0	53.2	934.7	
	日 照 時 間 (h)	188.6	192.4	217.1	196.9	188.6	151.9	123.3	125.5	137.1	168.4	167.0	174.7	2031.3	
	札幌平均気温(℃)	-3.4	-2.7	1.3	7.3	13.1	17.1	21.3	22.4	18.8	12.2	5.3	-1.0	9.3	
	東京平均気温(℃)	6.0	6.8	10.0	14.8	19.4	22.5	26.3	27.7	24.1	18.8	13.6	8.4	16.5	

※緯度経度・気候は十勝総合振興局管内概要とまち2022(北海道十勝総合振興局)

※気象は平成5年～令和4年(1993～2022)の30年平均(気象庁ホームページから帯広開発建設部作成)

## 面積・人口・土地利用

十勝管内は、1市16町2村で構成され、総面積は10,831.62km<sup>2</sup>と全道の約13%を占めており、振興局ごとの面積では第1位となります。また、全国との比較では都道府県面積で第6位の秋田県と第7位の岐阜県の間位置します。

総人口は、331,894人で、うち地域経済の中心である帯広市に人口の約50%の165,047人が集中しています。

土地の利用面積は、山林が4,569km<sup>2</sup>(42.2%)と最も広く、次に畑の2,415km<sup>2</sup>(22.3%)、牧場の288km<sup>2</sup>(2.7%)と続き、田は21km<sup>2</sup>(0.2%)とわずかです。

※面積は令和5年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)(国土地理院)

なお、然別湖は水面が境界未定のため、上士幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積に含まれる)

※人口は令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口

※土地利用は第129回(令和4年)北海道統計書(北海道総合政策部)

## 産 業

### ■ 農 業

十勝農業は、経営耕地総面積約23万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数15.0%、耕地面積22.7%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は47.1ha(全道平均27.4ha)、主業農業経営体率は86.7%(全道平均71.7%)と大規模かつ主業率の高い農業地帯となっています。

令和2年の農業産出額は、3,042億円となっています。

※2020年農業センサス(農林水産省)、令和2年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

### ● 十勝で収穫される主な作物(収穫量)の全国シェア

区分	てんさい	ばれいしょ	小麦	大豆	小豆
全国	4,061kt	1,841kt	1,091kt	246kt	52kt
十勝	1,889kt	780kt	299kt	32kt	37kt
全国シェア	47%	42%	27%	13%	71%

※農林水産省「作物統計(令和3年度産)」

小豆は、北海道農政事務所「北海道農林水産統計(令和2年度産)」及び十勝総合振興局調べ(令和2年度産)

### ■ 林 業

十勝管内の森林面積は、およそ690千haで全道森林面積の12.5%を占めており、上川、オホーツク管内に次ぐ主要な森林地帯を形成しています。また、十勝の土地総面積に対する森林面積の割合は63.6%を占めています。森林の所有者別では、国有林が60.3%、民有林は39.7%となっています。

恵まれた森林資源を背景に林業は管内の主要な産業のひとつとなっており、地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組を進め、森林資源の循環利用を促進しています。

令和3年度の伐採材積は、932千m<sup>3</sup>となっています。

※令和3年度北海道林業統計(北海道水産林務部)

### ■ 水産業

十勝管内の漁業は、寒流と暖流が接した好漁場の道東太平洋におけるサケ、スケトウダラ、シシャモ、タコ、ツブ、コンブ等を主体とした沿岸・沖合漁業です。

拠点となる漁港には、広尾町の十勝港(漁港区)・音調津漁港、大樹町の旭浜漁港・大樹漁港、豊頃町の大津漁港及び浦幌町の厚内漁港があります。各漁港で整備事業が進められており、今後の発展が期待されています。

令和3年の生産高は7万t、生産額は53億円となっています。

※令和3年北海道水産現勢(北海道水産林務部)

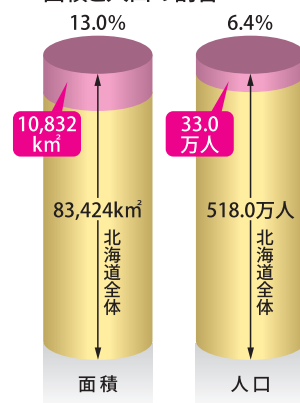
### ■ 工 業

十勝管内の工業は、食料品製造業、木材・木製品製造業(家具を除く)など、第一次産業に深く結びついた地場資源型工業のほか、電子部品・デバイス・電子回路製造業が主体となっています。

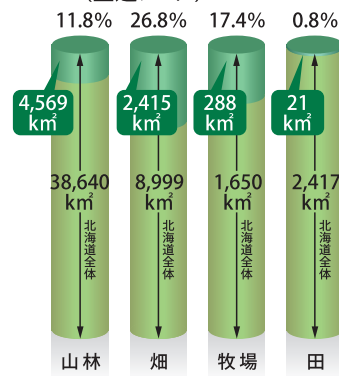
令和2年の年間製造品出荷額は、5,048億円となっています。

※2020年工業統計調査(経済産業省)、2020年工業統計確報(北海道総合政策部)

### ● 十勝の全道に占める面積と人口の割合



### ● 十勝の土地利用構成比(全道シェア)



### ● 十勝の産業別全道シェア

